



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2017-2018 年度
6月号
NO. 345

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL03-3615-5565

強調月間

評価

国際会長：Henry Grindheim(ルウェー) 主題:「ともに、光の中を歩もう」
アジア地域会長：Tung Ming Hsiao(台湾) 主題:「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：栗本治朗(熱海) 主題:「広げよう ワイズの仲間」
関東東部部長：長尾昌男(千葉) 主題:「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」
東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題:「楽しもう ワイズ!!」

6月例会(納会)

と き 2018年6月9日(土)
18:00~20:00
ところ 門前仲町「卯月」

司会：須田哲史

★プログラム

開会挨拶 会長 金丸満雄
ゲスト紹介
乾杯
食事/懇談
今期を振り返って(それぞれの一年)
各種報告/スマイル
閉会の挨拶 副会長 飯田歳樹

今期を振り返って!

会長 金丸満雄

「楽しもう ワイズ!」を主題に活動してきた、2017-2018年度がまもなく終る。

ワイズを楽しんだ一年。8月例会(納涼・歓迎会)は、DBC京都ウエストの皆さんを迎えた歓迎会と納涼。湾岸エリアの素晴らしい夜景をバックに楽しく交流の時を過ごし、翌日は深川祭りで共に神輿を担いだ。続く東陽町夏まつり・チャリラン・江東区民まつり・江東Yバザー・東陽町オープンハウス・陽春の集い等々、恒例の模擬店三昧で汗を流し、クラブCS活動も、第23回ピースウォークを行い、そして新たなCS活動として「下町こどもダイニング」の支援。東陽町センターをサポートするクラブとして、ひがしクラブ一丸で取り組んだ一年であった。その中、11月に思いもよらぬ出来事があった。我々の太陽的な存在の飯田メットの急死はだれもがショックで茫然とした。悲しみで意気消沈になったが、ひがしメンバーの踏ん張り笑顔に助けられて今期が終わる。こころを結んで私を支えてくれたひがしの皆様に、深く感謝いたします。

《第21回東日本区大会速報》

二日目の東日本区アワーⅡに於いて、地域奉仕事業部門で「下町こどもダイニング」への支援が、YMCA サービス特別賞としてひがしクラブが表彰されました。

✠ 今月の聖句 ✠

『私は彼らに永遠の命を与える。彼らはいつまでも滅びることなく、また、彼らを私の手から奪いさる者はない。』

—ヨハネによる福音書 10章 28節—



5月例会

出席者 12名 ネット 名
会員出席数 8名 ゲスト 4名
在籍数 12名 ネット 名
(広義会員2名)

ひがし会員出席率 80%

スマイル

5月 8,000円

累計 72,300円

2017-2018 年度役員

会長 金丸満雄
副会長 飯田歳樹
書記 須田哲史
会計 鮎澤正和
担当主事 沖 利柯

新しくなった YMCA ホールで行う初めての例会となりました。また講師の都合で開会がいつもの 18:30 から 18:00 に早まりましたが、参加予定メンバーは誰一人遅れることなく定刻にスタートしました。

今回の講師には、東陽町センターの近くに事務所を構え、東京 YMCA 賛助企業(各種印刷の総合企画・製作)の一つでもある、株式会社相互代表取締役社長の北條裕子さんをお迎えしました。いち早く「下町こどもダイニング」の活動にもご理解をいただき、初回より食材の提供をいただけてきました。その食材は長野県北安曇郡南部の池田町にある有機 JAS 認定の自社農場や契約農場でつくられています。人にも環境にも優しい食材から、いのちを豊かに育もうという理念が感じ取られます。

カモミールの効能と香りに魅せられた先代社長は、故郷である池田町に 4 万坪の土地を「カミツシの里」と名づけ購入し、カモミールの栽培のみならず「八寿荘」という宿も創設されました。暮らしの価値観を見直す契機にして欲しいと、とことんオーガニックにこだわり、健康に良い食事やお風呂、環境を提供しされています。それは印刷理念にも通じており、竹紙を使用したり、米ぬかや大豆の油を原料としたインクを使用しているなど、環境に配慮されているという驚きのお話を伺うことができました。

下町こどもダイニングにもそのような食材を使って頂くことで、健康な体や心をもった子どもたちを育てて欲しいという願いをもっておられます。是非、ワイズメンズの皆様で一度「カミツシの里」を訪れたいと思いました。

そして、東陽町コミュニティセンターはこのような活動を通して、今まで繋がっていなかった企業・団体・個人を繋ぐ働きを行ってまいります。



東京 YMCA 会員大会

5月26日(土)、第16回東京YMCA会員大会がリニューアルされた東陽町センターに於いて開催された。YMCAを支える115人の会員が集いひがしから飯田さん千代さん金丸が出席した。YMCA 各種の表彰・運営委員の推挙・報告等が行われた。今年のテーマは「会員によるYMCAを知ってもらう大会」であり、こどもダイニング他活動を詳しく紹介するブースが設けられた。こどもダイニングのブースでは、千代さんと金丸がスナップ写真とともに説明と質問に答え、訪れる一人ひとりの関心が高いと感じた。

今年の「ボランティア・オブ・ザ・イヤー」に故村杉克己氏が選ばれ、第3部懇親会で一榮夫人に表彰状が多くの拍手の中贈呈された。



▼熊本大地震復興支援募金期間延長

熊本YMCAは、熊本大地震復興支援募金期間を1年延長し、2019年4月30日までとすることを決めました。募金目標額は、被災コミュニティの緊急支援、及び熊本YMCAの活動による復興支援活動のために2億円としています。

復興は進んでいるものの、いまだに3万8千人もの方々が仮設住宅などでの生活を余儀なくされており、再建の目的の立たない方も多数いることから、引き続き全国YMCAが協力し、継続的な復興支援を行っていくことになりました。ご支援をお願い致します。

▼会員芸術祭・会員大会

5月19日、「第21回会員芸術祭」のオープニングセレモニーが東陽町センターで開催されました。開幕のテープカット、菅谷功先生(新槐樹社準委員)による講評、嶋倉昌平氏ほかによる津軽三味線の演奏があり、出展者同士の交流がはかられました。今回は48名62点の出品があり、一週間にわたる会期中は、受付の協力をいただき有難うございました。

また5月26日には第16回会員大会が行われ114名が参加しました。名誉会員に越智京子氏、2017年度Volunteer of the Yearには村杉克己氏が選ばれました。ひがしクラブの金丸会長には3年の任期を終えて記念品が渡されました。有難うございました。

▼ボランティア募集

東陽町コミュニティセンターではたくさんの方にボランティアの楽しさを知って頂きたく、以下のようなことを計画中です。ご自身もちろん、お知り合いの方など、ボランティアに興味のある方を是非お誘いください。

・認知症カフェ

毎月第2水曜日 14:00-16:00

東陽2丁目町会や近隣住民、江東区職員の方と協働で認知症やその家族の方を対象としたカフェを、コミュニティセンターで開催します。運営のお手伝いを募集しています。

・Welcome Café

毎月2回(日時未定)日本に来て言葉に困っているお母さん達を対象にカフェの開催を考えています。現在立ち上げ準備を行っています。ご興味のある方は是非!

・クリーンウォーク

毎月第2金曜日 12:45~13:15 短い時間ですが東陽町近隣をみんなでクリーンアップしています。一緒に住みよい街づくりにご協力お願いします。

・広島・長崎原爆写真パネル展

平和やいのちの大切さを訴えるために、8月6日~10日、ロビーにてパネル展開催を企画中です。一緒に企画、運営をしてくださる方を募集しています。

・インターナショナルデー

6月12日(土) 14:00~17:00 子どもたちに日本の文化を紹介するコーナーの運営ボランティアを募集しています。
*その他こんなことが必要じゃないか!というご意見も大歓迎です。是非アイデアの提供をお願い致します。

★今月の誕生日

高野真治さん(26日)


